

校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文

平成28年2月4日

NO.24

『いのちをまもる』ハンカチ！

2月3日（水）に避難訓練を実施しました。この日は、教員が実際に消火器を使い水を出的に当てるというものでした。消火器を見たことはあるけど、自分で使用したことがない児童がほとんどです。体験することはとてもよい勉強であり、いざという時に大変役立つことは間違いありません。今回は児童は体験できなかったのですが、来年度予定されている学校と地域が合同で行う地域防災訓練では、多くの児童が消火器訓練ができるように計画を立てていきます。その他にも様々な企画を考案中です。

ところで、毎回の避難訓練では、児童に様々なお話やクイズなどを出しては、災害から自分の身を守ることの大切さを伝えています。今回は、下記のような11個の文字を並び替えて言葉づくりを考えてみました。

ち	を	か	ち	は	い	る	の	も	ん	ま
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

正解は『いのちをまもるはんかち』です。ハンカチ携帯については、再三指導していますが、いまだ全校児童がハンカチ忘れゼロとまでは至っていないのが現状で大変残念です。この言葉は短いものですが、とても大切なので全校で合い言葉にしていきたいと考えています。しっかりと覚え、きちんとハンカチを毎日持ってくるように努力していきましょう。。ご家庭でもハンカチの用意と声掛けをどうかよろしくお願いいたします。

さて、この機会なので、ハンカチの効用について一緒に考えてみましょう。ハンカチを持っていると良いことは、①手を拭く、②汗を拭く、③火事の時に煙を吸わないよう鼻と口を塞ぐ、④三角巾として使える、⑤鉢巻きになる、⑥応急手当に使う、⑦災害時にハンカチを振ることでSOSに使える、さらに⑧丸めてボール遊びができる・ハンカチ落としに使えるなどがあります。⑧は別として、自分の体の健康や安全にハンカチ携帯の意味はとても大きいということがよく分かります。また、衛生面でもハンカチ携帯はとても意味のあることで、人としてのエチケットを守るという点からも、毎日いつも清潔なハンカチを持っていることはとても重要であると思います。

いざ、火事の時どうするか。煙に巻かれたらどうするか（上記の地域防災訓練では煙体験も計画中です）。人は普段と違う場面では必ずパニックに陥ります。その時に体に身につけていれば、難を逃れることができるのです。さらに、ハンカチを水につけて湿らせると、それだけ煙粒子や刺激性のあるガスを吸う数値が下がり、吸気温度を下げ生理的な負担の軽減が期待できると言われています。常にハンカチを携帯し、安全・安心のために気をつけていきましょう。また、合言葉の『いのちをまもるハンカチ』も覚えていきましょう。